



©横浜チャレンジスポーツ2016



© BLACKSOX

# 共生スポーツ 障害者スポーツ

取材・文・写真●芹澤玲子(公益財団法人横浜市体育協会)／協力●田川豪太(障害者スポーツ文化センター横浜ラポール)

昨年9月に開催された、リオ2016パラリンピック競技大会は、世界の160を超える国や地域から、約4300人が参加し、大変盛り上がりました。

パラリンピックは、戦争によって脊髄を損傷し、両下肢が麻痺した人々のリハビリテーションに、スポーツを導入したことから始まりました。この取り組みを主導したのは、英国のルートヴィヒ・グッドマン医師で「失ったものを数えるな、残されたものを最大限に活かせ！」というメッセージとともに、近代障害者スポーツの礎を築きました。

そして今、障害者が健常者と等しく生きる社会、すなわち全ての人のために「当たり前」の活動を「当たり前」に実現するため、社会の環境整備が進んでいます。

スポーツにおいてもその第一歩として、共生スポーツの取り組みが行われています。

さまざまな障害のある方のスポーツ活動はもちろん、障害の有無に関係なく、だれもが楽しめるスポーツ活動です。

それには、この活動を支える人や理解あるサポートが重要になります。

障害はあるけれどスポーツをした  
い方、障害者のスポーツ活動に携わってみたい方、横浜での取り組みをご紹介します。

## 障害者スポーツ…

### ● 競技としてのスポーツ

個人や団体で他者と競い合うこと。国内で最も多くの選手が参加するのは、全国障害者スポーツ大会。

### ● リハビリテーションとしてのスポーツ

さまざまな障害のある方々が、スポーツをツールとして、機能の維持・向上や社会参加機会の増大等を図る活動。

### ● 健康・体力づくりとしてのスポーツ

ウェイトコントロールや基礎体力向上を目的とし、トレーニングや水中ウォーキングなどをする活動。

### ● 余暇活動としてのスポーツ

自分の好きなスポーツを、仲間や家族などと楽しむ活動で、勝ち負けよりも楽しい時間を共有して、リフレッシュを図るもの。

## 共生スポーツ…

障害の有無はもちろん、年齢や性別を問わず、だれもが同じステージで楽しめるスポーツ活動。それらのスポーツ活動での交流を通して、共生社会に向けた心のバリアフリーに取り組むこと。

# 横浜の 障害者スポーツ

## 競技としてハマピック

秋季国体後に、国体開催地で開催される全国障害者スポーツ大会(以下、全スポ)は、都道府県単位のチームに加え、政令指定都市(以下、政令市)も代表チームを派遣します。47都道府県と20政令市の全67チームにより競われ、横浜市代表チームは、常に上位の成績を収めています。

全スポの種目は、個人競技と団体競技があり、身体障害、知的障害、精神障害の選手が参加します。

横浜市の代表は、ハマピックという予選会で選考されます。

今年度の第17回全国障害者スポーツ大会「愛顔つなぐえひめ大会」(10月28日〜30日、愛媛県)の代表選手を選出するハマピックは、4月9日のアーチェリー競技などを皮切りに、5月7日の陸上競技まで、ほぼ毎週末に開催されました。



アーチェリー

## 健康・体力づくりやリハビリとして

障害者のスポーツ活動の拠点である、障害者スポーツ文化センター横浜ラポールは、健康・体力づくりやリハビリテーションとしての障害者スポーツの推進を積極的に行っています。

また、横浜ラポールでは、障害のある方々が、身近な地域のスポーツセンターや地区センター、ケアプラザなどでスポーツを楽しむ事業も行っています。

地域で人気の種目は、昨年のパラリンピックで注目されたボッチャや卓球、グラウンドゴルフなどです。

この身近な地域での活動により、障害者スポーツへの理解が進み、共生社会の実現も進んでいます。



地域での活動の様子



障害者のスポーツ・レクリエーション活動や、これを支えるボランティア活動などにご興味のある方は、障害者スポーツ文化センター横浜ラポールへお問い合わせください。TEL 045-475-2001

## 横浜のプロチームが支える ～横浜F・マリノスフットボール～



「横浜F・マリノスフットボール」の詳細は、こちらをご覧ください。  
URL <http://www.f-marinos.com/hometown/inclusive-football>

横浜をホームタウンとするJリーグチームの横浜F・マリノス(以下、マリノス)には、Jリーグ初となる知的障害者サッカーチーム「横浜F・マリノスフットボール」(以下、フットボール)があります。

フットボールは平成16年に発足し、マリノスと横浜ラポール及び(公財)横浜市体育協会が協働で運営しています。

参加する選手は、マリノスのユラオームを着て、マリノスのコーチから指導を受けています。また、日産スタジアムでゲームを行う際には、マリノスサポーターからの大きな声援の中で、サッカーを楽しんでいます。このような環境は、大変素晴らしいものです。

Coca-Cola is a registered trademark of The Coca-Cola Company.

**Coca-Cola**

TASTE THE FEELING®

する人

多くの人々を勇気づけ、日米友好の懸け橋となりました

町田宏さん(横浜市職員)



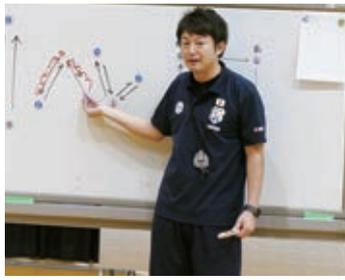
今年のポストンマラソン大会で、駐米領事から日米友好活動をした賞状を受賞した町田さんは、40歳の時に網膜の病気で失明後、49歳で伴走クラブと出会い、マラソンを始めました。

50代からの新たな挑戦は、体力的な困難を克服するところからのスタートです。土日は、新横浜公園や代々木公園の伴走クラブで練習を重ね、2013年に53歳で「ニューヨークシティフルマラソン」に初出場し、見事完走しました。「不自由があっても、同じように戦えるんです。」

4年連続で世界大会に出場し、自己記録を更新し続ける町田さんの現在の目標は、世界6大マラソン大会の完走です!!

支える人

電動車椅子サッカー日本代表アシスタントコーチ 眞島 哲也さん



電動車椅子サッカーコーチ M Yokohama Crakers (横浜クラッカーズ) にボランティアとして、胸を踊らせて参加した初練習では、ほとんど選手たちと喋ることができませんでした。

原因は自分にあります。それは障害に対して「知らない」ことで、自分で勝手に「心の壁」を作り、選手の内幕をみて接することができていませんでした。

私自身、選手・競技を通じて、障害を知ることによって視野が広がり、成長しました。今私にできることは、電動車椅子サッカーを通じて「障害を知る」ことを広めること。幼少期から「知る」機会があれば、その子どもたちが創る社会に「心の壁」はなくなるでしょう。

携わりたい人

横浜市障がい者スポーツ指導者協議会 (愛称 バセル)

ハマピックをはじめとする、横浜で開催される大会や障害者スポーツイベントなど、多くの場で活躍しているバセル。バセルで活動するには、初級障害者スポーツ指導員養成研修会への参加が必要です。障害者スポーツを支えるお手伝いがしたいという方は、ぜひ研修にご参加ください。



研修会

- 日程 平成30年1月27日(土)・28日(日)、2月10日(土)・11日(日) (4日間)
- 会場 横浜ラポール 大会議室他
- 費用 7,500円(受講料、教本代)ほか、認定料5,500円、登録料3,800円
- 申込期間 11月13日(月)~12月17日(日)
- TEL 045-475-2001 (横浜ラポール スポーツ課担当まで)

携わりたい人

横浜市スポーツボランティアセンター開設

横浜市スポーツボランティアセンターでは、市内で開催されるスポーツイベントや障害者のスポーツイベントのボランティア情報を提供します。

また、ボランティアのスキルアップにつながる研修会や講習会を行うなどの支援をします。

スポーツには「する」「みる」を楽しむだけでなく、「させる」楽しみがあります。多くの方がスポーツボランティアを通じて、仲間ができ、感動し、生きがいを感じています。あなたもスポーツボランティア登録をして、活動の素晴らしさを体験してみませんか。

登録希望の方はこちらから

URL <http://sports.yokohama-volunteer.jp/spo-v/>

東亜株式会社

営業取扱商品

- 宣伝・広告物全般 カタログ、会社案内・パンフレット、ポスター、チラシ類、ハガキ等
- 販促ツール加工製品 各種POP、等身大、ディスプレイパネル、のぼり、横断幕等
- パッケージ各種 化粧箱、組箱、ワンタッチ箱等
- 袋類各種 紙手提袋、薬袋、OPP、CPP、ポリエチレン袋、巾着袋、手提袋、外装袋、OPP封筒等
- 塩ビ・プラスチック クリアファイル、POP、下敷等

●上記取扱商品に関する、企画・デザイン・印刷・加工全般

〒135-0045 東京都江東区古石場1-1-9  
TEL.03-3643-8101 FAX.03-3643-8170 toa@river.ocn.ne.jp 担当:平尾

